

2023/08/22(火)

妙高山(2454m・百名山・頸城三山・北信五岳)

メンバー:L 辻・福田・有賀

2泊3日で笠ヶ岳の予定が天候不安定で取り止めとなり、急遽日帰りで行かれる妙高山に変更。

5:40 着の駐車場は平日のため4~5台のみ。未だ6:00だと言うのに歩き出してすぐに汗だくとなる。

遠望の妙高山(写真①)はとんがり帽子でかなり急傾斜の山様。手強そう。あたり一面硫化水素の匂いが立ち込め、タオル片手に朝風呂に行く人もいて、まさに温泉街の様相。



赤倉温泉源泉(写真②)までは急登の細い舗装路が1時間あまりも続く。

源泉の管理小屋があり毎日通ってくるらしい。

↑白濁しているが冷たい

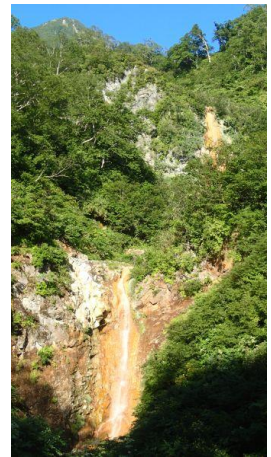


①

よくぞこんな上まで舗装したものだと思ってしまう。源泉が所々流れているが触ってみると冷たい。水場もある。硫黄の匂いが立ち込める中しばらく登ると③称明滝、光明滝が見えてくる。2つ合わせると落差100mとあり結構立派な滝だ。赤肌の斜面を流れ落ちる様はなかなかの景観である。



②



③

カンカン照りではあるが樹林帯のため木陰に助けられる。昨日降ったらしく道はかなり濡れていて蒸し暑い天狗堂までが意外と長い。天狗堂から光善寺池(血の池)を過ぎると胸突き八丁となりいよいよ急登が続く。

鎖場(写真④)は岩に刻みがあり見た目ほど大変ではないが、途中左側が切れ落ちた細いトラバース区間がありかなり慎重に進む。そこから更に上に続く岩場の最後の急登を登りきるとやっと南峰山頂に着く。平日なのに結構人がいて賑やかだ。日本岩を越え北峰に向かう。



④

北峰は広くて人も少なくゆっくり休憩とする。火打山と焼岳が向かいに見え、左手には飯縄山と野尻湖が望めた。休憩中にわかには景色が一遍。ガスが沸いてきて青空が消え、展望も無くなってしまった。山の天気はこれだから分からない。Aさんが登りでかなりバテている様子だった。食欲無し。軽い熱中症か？下りは快調だった。

下りは鎖場を慎重に下り、風穴で涼しい風を受ける。暑さのため水の消費も激しく、赤倉温泉原湯の水場で喉を潤す。今回の山行は急登続きの長丁場で、まるで笠新道の予行演習といった感があり、真夏の笠新道は考え物だと思った次第です。

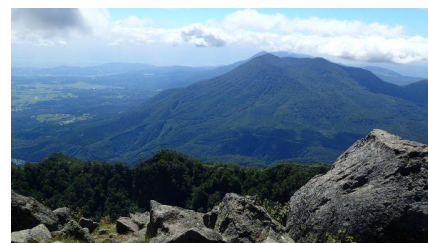
なかなかきつい山でしたが花が予想以上に沢山咲いていてうれしい誤算でした。ツルニンジン、テンニンソウ、ミョウコウアザミ、ミョウコウトリカブト、オヤマノリンドウ、キオンの咲き乱れるお花畑。ウメバチソウも花が大きく立派で驚きました。山頂直下にトウヤクリンドウの群生もあり。

※余談:新潟の水不足で笹ヶ峰ダムが枯渇。野尻湖の水が農業用水として使用されているとの事。

水位2m以上低く遊覧船やボート運航不可。通りでいつもより小さく見えた。

【コースタイム】 晴れのち曇り

- 06:00 燕温泉登山口
- 07:10 称明滝
- 09:00 天狗堂
- 09:30 風穴
- 11:10 妙高山(南峰)
- 11:20 妙高山(北峰) 12:00 発
- 12:50 風穴
- 13:10 天狗堂
- 14:30 赤倉温泉源湯
- 15:15 燕温泉登山口



裏から見た
日本岩



テンニンソウ



イワシャジン



お花畑



大きなウメバチソウ



オヤマリンドウ



ミョウコウトリカブト



ムシカリの赤い実



トウヤクリンドウ